

	名古屋大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：107 第3年次：5） 医学系研究科（M：30 D：161）
沿革・設置目的	<p>明治4（1871）年、名古屋藩種痘所の意見具申により設立された仮病院・仮医学校の流れを汲み、医学に関する教育・研究を行うことを目的に、愛知医学校、愛知県立医学専門学校、県立愛知医科大学、官立名古屋医科大学、名古屋帝国大学医学部を経て、昭和24（1949）年名古屋大学医学部として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 新制名古屋大学設置 昭和24年（1949年） 新制名古屋大学医学部設置 昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成14年（2002年）に医学系研究科に改称） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名古屋大学の基本理念等に基づき、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践により、論理的思考力と想像力に富み世界的に活躍できる医師及び医学研究者の養成を積極的に推進する。また、我が国及び発展途上国等のナショナルリーダーの養成に積極的に貢献する。 ○ 急速に進む超高齢社会を見据えた神経疾患と腫瘍との融合研究（病態解析・分子標的治療等）や脳神経系の創薬研究等を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 橋渡し研究支援拠点として、基礎研究成果の臨床への橋渡しを強力に支援することにより研究成果の実用化を推進するとともに、臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や難病等の医師主導治験を推進するための中心的な役割を果たし、日本発のイノベーション創出を目指す。中部先端医療開発円環コンソーシアムによる国公立中部7大学及び国立長寿医療研究センターの連携強化により、強力に臨床研究を推進する。 ○ 特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院等としての役割や、愛知県等における地域医療の中核的役割を担うとともに、広範な関連病院ネットワークを活かし、地域医療を担う医師の養成を積極的に推進する。